

黒川病院

●山口県周南市

住宅・設計・施工

事務所・複合施設

教育・スポーツ施設

商業施設・飲食店舗

医療・福祉施設

宿泊・温浴施設

産業

贈呈理由 建物リニューアルに伴い、環境に配慮した業務用エコキュートを採用



黒川病院



業務用エコキュート

見えるところに温度計を設置、無駄を省くことを徹底

病院としての省エネルギー・節電に対する取り組みは、「患者に負担をかけないこと」が基本である。このことは、建て替え後でも大きな変化はない。

空調は室温28℃以上で運転することに取り組んでいるが、職員の見える場所へ温度計を設置したほか、なにより無駄を省くことを心がけており、使わない場所の照明や空調のスイッチをこまめに切ることを徹底している。

今後は消費電力の見える化による最大電力抑制や、停電リスクの軽減策に取り組みながら、さらなる地域の健康と福祉の増進を目指していく。

黒川病院は1979年9月に、22床の脳神経外科単科の病院として徳山市（現在の周南市）に開院した。同病院は開院時よりCTを導入するなど、常に最先端の医療を提供し続けてきた。

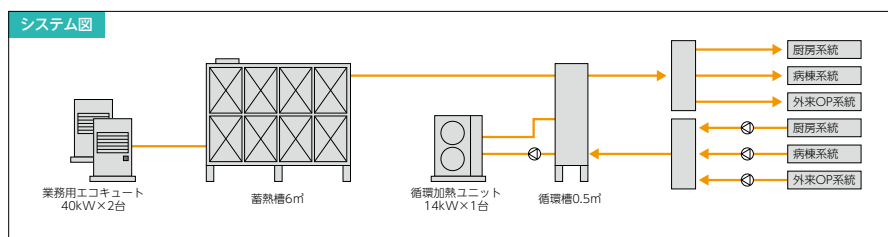
2003年には外来部門を分離独立させ、黒川医院（無床）を併設した。その後、12年に建物の老朽化をきっかけとして、病院を建て替え、現在では脳卒中診療のほか、頭痛診療・認知症診療など頭蓋内疾患とその関連疾患を幅広く診療している。

環境性・省エネ性・コストパフォーマンスに優れた業務用エコキュート

今回の建て替え検討にあたっては、年中無休という病院の特性から、安全で安心できる施設であること、および省エネルギーとエネルギーコストの低減を両立させることを前提とした。ほかの病院関係の先進事例などの情報を収集し研究した結果、環境性・省エネルギー性・コストパフォーマンスに優れた業務用エコキュートなどの高効率機器を中心としたシステムのイメージが整い、設計会社とともにその具現化につなげ

ていった。

建て替えて1年を経たが、唯一心配していた貯湯量も十分な量が確保されており、患者にも職員にも快適な病院環境が提供されている。運営面からみると、運転集中管理を導入したことによる人的負担の軽減や熱源をひとつにまとめたことによるメンテナンス性の向上、そして予想以上のエネルギーコスト低減効果が得られている。



一次エネルギー消費量削減効果

今回採用 業務用エコキュート

従来方式 灯油ボイラ



(諸元) エネルギー使用実績比較
一次エネルギー原単位
電気(夜間): 9.28MJ/kWh (※) 灯油: 36.7MJ/L (※)
(※) [エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則] (2010年改正)

黒川病院

所在地: 山口県周南市五月町8-19
建築設計: 大旗連合建築設計(株)
建築施工: 鹿島建設(株)中国支店
蓄熱設備設計: イシバシエンタープライズ(株)
蓄熱設備施工: 株式会社中電工
延床面積: 2,569㎡
竣工年: 2012年(新設)

蓄熱設備概要

業務用エコキュート 40kW x 2台(三菱電機)
貯湯槽: 6㎡